

2024年度 荒川区立第三中学校

スクールカウンセラーだより No.2 (6~7月号)



—— 教育相談室からのメッセージ ——

合理的配慮をめぐる 他：学生相談の学会に参加して

皆さん、こんにちは。かなり暑くなってきましたね。3年生は修学旅行、お疲れ様でした。東京にいと古都奈良・京都について調べることしかできません。しかし実際に目にしたことではなかなか体験できない貴重な日々を過ごすことができたでしょう。などと言っているうちに1学期も後半に至り、学校では運動会、そして9科目の期末テストと続きます。身体に気をつけて頑張ってください。

さて私は杜の都、仙台で「日本学生相談学会」があり、行ってきました。私自身、今は小中学校でスクールカウンセラー等をしていますが、その前はずっと病院の精神科や大学の学生相談室等に長年勤務しておりました。学会では合理的配慮をめぐる議論が多かったです。これは障害のある方々の人権を大切に、教育や仕事、その他社会生活に平等に参加できるよう、障害の特性や困りごとに合わせて行なわれる配慮のことです。2016年に施行された「障がい者差別解消法」に基づき、本年4月からは義務化されました。そして色々な実践報告があったわけですが、今後、小中学校でも様々な議論が生じるでしょう。例えば、コロナ禍の際、オンライン授業が展開した後、対面授業に戻る中であって、授業としてどのように位置づけていくか…、といったことも1つの例になります。

不登校・ひきこもり状態の子達には、オンラインは対面でのストレスもやわらぎ、自分のペースでしっかり力を伸ばせる良さもあるでしょう。こうしたツールをうまく利用しつつ、まさに水を得た魚の如く、生き生きと歩み直し、社会でも活躍しておられる方々は少なくありません。ただ学校教育ではどうしても社会の中で生きていくためにも、対人交流を大切に多くの生徒と一緒に授業を受け、部活等でも活躍することが期待される面もあり、その兼ねあいで皆、苦勞しているというのが実情です。こうした模索はまだまだ続きます…。



発行日：2024年6月6日

発行者：荒川区立第三中学校 TEL：03-3801-5808（職員室）

住所：〒116-0003 荒川区南千住 8-10-1

今回の学会でもう1つ印象に残ったのは甲子園で全国制覇を成し遂げた地元、仙台育英高校野球部の須江航監督の講演でした。先生曰く、育つのを邪魔してはならない、シンプルにやってみることから始めまた考えて修正する、他者や自身の失敗から学ぶことが大切、情熱とねばり強さそして率直さは重要、意見や価値観が違うことを面白いと思えることも大切等々、あの「情熱大陸」出演時と同様に、80分パワフルに語り通されました。単にスポーツのみならず野球を介して人間教育に携わってこられた方の言葉は強く心に響くものがあり、仙台の緑と共にとても心に残る時空間となりました。

(平野 学)

カウンセラー紹介（公認心理師・臨床心理士）

野口 直輝（のぐち なおき） 木曜日 8:15~13:00 または 13:00~17:15

平野 学（ひらの まなぶ） 金曜日 10:00~18:30

6月の予定

野口 平野

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	△6	○7	8
9	10	11	12	▽13	○14	15
16	17	18	19	△20	○21	22
23	24	25	26	▽27	○28	29
30						

7月の予定

野口 平野

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	△4	○5	6
7	8	9	10	▽11	○12	13
14	15	16	17	△18	○19	20
21	22	23	24	▽25	○26	27
28	29	30	31			

(▽午前、△午後)